

大豊町の概要

位置	東経133度37分 北緯33度56分
面積	320.54平方杆 東西32杆 南北28杆 部落数87
人口	11,689 男5,622 女6,067
世帯数	3,639 (5月末現在住民基本台帳調)



昭和49年6月25日発行

全世界配布

編集 館報大豊編集委員会

発行 大豊町中央公民館

印刷 高知印刷株式会社

本年度の当初予算

総額十二億一千九百九十九万九千九百九十九円

第一四六回大豊町定例会は三月十一日招集、昭和四十九年度予算(総額十二億一千九百九十九万九千九百九十九円)をはじめ、幾多の重要案件を審議し、十三日原案を可決して閉会した。

町長の施政方針

説明の
大要

昭和四十九年度行政の基
本方針とその見直しなど
門田町長の説明内容の要
要は概ね次の通りである。
四十八年度にいたる物
不足、物価高騰など異常事
態に陥り、更に原油供給量
削減、価格引上げなど一連
の石油攻勢の影響により、
インフレの傾向が急速に波
及して、経済は戦後最大の
危機と騒がれる程の状況に
達して進展した。このた
め政府は物価の早期安定を
図るため公共事業の繰り延
べ等の総需要抑制政策を強
力に実施してきた。
本町においても、既に予
算措置を講じて実施を予定
していた町道の開設、改良
九路線の施工を繰り延べさ
ざるを得なくなったことは先
般報告の通りである。

昭和四十九年度において
も政府は物価抑制を当面す
る最大の課題として差別
運用については、いわゆる
資、公定歩合の引き上げ等
一連の金融引き締め措置と
併行して、公共事業の資
的削減等の財政措置を講ず
ることにより、短期間に物
価安定を図ることを主眼と
して、総需要抑制政策を一
段と強化した緊縮予算を編
成して国会に提出してい
る。

地方財政の運営について
も、国と同一基調により歳
出を極力圧縮するとともに
、行政投資について極力
抑制、繰り延べの措置を講
ずる方針が示されている。
地方財政の運営について
も、国と同一基調により歳
出を極力圧縮するとともに
、行政投資について極力
抑制、繰り延べの措置を講
ずる方針が示されている。

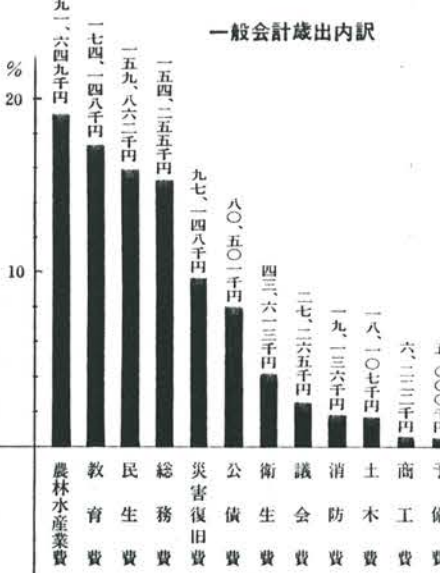
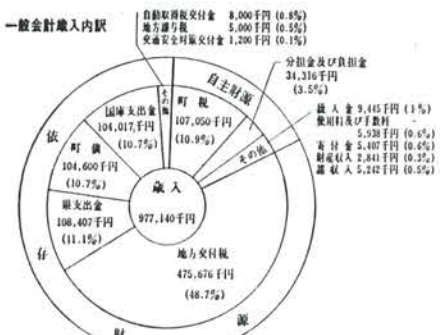
この結果、一般会計予算
額は九億七、七四四万四千
円、昭和四十八年度当初
予算に比較して、七、三
一、

毎月第三日曜日は

家庭の日

のびゆく家庭の12章

- 第1章 ほめ方とさとし方によいしつけ
- 第2章 知らず知らずに親は手本になっ
ている
- 第3章 両親も子ども心で仲間入り
- 第4章 子の様子知っているのが親の役
- 第5章 子どもとの約束もよい家庭
- 第6章 物より心を子どもに与えよう
- 第7章 子の立場親の立場を認めあい
- 第8章 何事も気安く話す子に育て
- 第9章 いつまでも子ども子どもと思わずに
- 第10章 かげ口や悪口なくす家の中
- 第11章 どの子どももみんなわが家の大事な子
- 第12章 子は十色みなそれぞれの色に咲き



一万二千円の減額となる庄
予算となった。これによ
て昭和四十八年から繰り延
べとなる事業をはじめとし
て町道の開設、改良事業は
繰り延べとなり、四十九
年度建設を予定しておりま
す。このように情勢を背景と
して昭和四十九年度の編成
に当たっては、健全財政を堅
持すること、国の総需要抑
制強化の方針に対応すると
ともに、町の特殊事情を考
慮して、住民の生活安定と
福祉充実の実現を期するこ
とを最大目標として、財政
の重点的配分と、経費支出
の効率化を図ることを基本
方針として編成したもので
ある。

この結果、一般会計予算
額は九億七、七四四万四千
円、昭和四十八年度当初
予算に比較して、七、三
一、

一億七、〇五〇万円、国県支出
金二億一、二四二万四千
円、町債一億四、〇〇〇万円を主
たる財源として見込み計上
したものである。

過去二年間続いた相当多
額の臨時歳入を原資とし
て膨張した財政規模を一旦
に平常な適正規模に圧縮す
ることは非常に困難なこと
である。加えて四十九年度
地方自治法をとりまく財政
事情は非常に厳しい情勢下
におかれており、大豊町に
おいては重大な局面に立ち
至っている。このような時
にあればこそ一致協力し、
能力の限りを用いて、あら
ゆる手段と創意を凝らし
て、行政水準の低下を来さ
ず、この厳しい最悪の努力
を払う所存であるので、
議会の指導と協力を心から
願う。

基礎整備
広大な面積の山間地域に
集落が散在している本町の
宿命的な立地条件と、限ら
れた枠の中での事業には
おのずから限界があり、町
民の要請を満たすためには
更に相当の年月を要するに
が、一日も早く全ての集落
にバスを計上した。
林業振興費としては野ねず
み駆除事業五十四万円、良質
材生産促進事業九〇万円等
合計一、三〇七万九千円を
措置した。

産業対策
国の農業政策がめまぐる
しく変転する中で、本町の
特殊性を活かした農業施策
を推進することにより、農
業の振興を図らなければな
らない。四十九年度は、先
においては独立採算は維持で
きず、このまま推移すれば
約一、五〇〇万円の赤字決
算となること予想され
る。

保健衛生
住民の健康維持と環境衛
生の充実を図りたいと考
えている。国民健康保険に
ついては被保険者の減少に反
比例して医療費は増加の一
途をたどり、四十九年度に
おいては独立採算は維持で
きず、このまま推移すれば
約一、五〇〇万円の赤字決
算となること予想され
る。

消防防災
広域市町村圏事業の一環
として発足した消防防組
合は、四十九年度からその
陣容を整え本格的な活動
を開始した。これにより本
町の消防力が一段と充実し
警察消防活動も活発に行
なれるものと確信してい
るが、非常消防防について
も団員の待遇改善を図り意
欲の向上に努め一朝有事の
際に住民の生命、財産を災
害から護ることに遺憾なき
を期する所存である。

社会福祉対策
国の福祉優先政策にの
つり本町においても福祉対
策の充実を図り民生安定に
寄与する方針で四十九年度
の民生費の総額は、一億
五、九八六万二千円、四十
八年度比三五・七六増と
なっている。その中でも老
人福祉費は六、八二九万八
千円、四十八年度比三三・
九二増の増額となり、一
三・五五増の増額となつ
て示している。

教育振興対策
教育水準も逐次向上して
いるが四十九年度も更にこ
れを踏襲し教育振興を促進
する所存である。プール設
置及び東豊小学校の体育
館建設は前述の通りである
が、同小学校の校庭整備を
実施することとし、債務負
担を含め、一、四八〇万
円を措置すると共に備品購
入費六四二万三千円を計上
した。又大豊中学校東豊永
分室が大豊中学校への実質
統合に伴う生徒送迎用ス
トールバスを購入すること
とし、七五〇万円を措置し
た。これらにより教育費の
総額は一億七、四一四万八
千円、四十八年度比三三・
〇六増の増額となる

代替え輸送
過去三年間独立採算を維
持してきたが、人件費、燃
料費等の高騰に伴い、四十
九年度は旅客運賃を改定し
てもなお九八万円の赤字が
見込まれるため、一般会計
から四九万円の繰り入れ措
置を講ずることとした。

簡易水道事業
独立採算を維持すること
が難しく、四十九年度は水
道料の料率引き上げを見込
んでおるが、それでも尚一
般会計から三七六万七千
円の繰り入れを余儀なくさ
れている。

水稻の管理

中晩稲の田植えも既に終り一段落していることとします。これから出穂期に向けて次の点に気をつけて田んぼを見まわしましょう。

病斑は早目に防除

病害虫の防除

収穫までに少なくとも二週間、早目に防除を行うと、田んぼの被害を軽減し、米の品質を向上させることができます。特に、初期の害虫防除は、後の稲作に大きな影響を与えます。

除草剤と水管理

水田の除草剤も多く出まわり、これらをよく組み合わせることで、雑草の発生を抑え、稲の生育を促進します。



分けつ最盛期の機械植え (6月下旬中頃に)

除草剤の使用 追肥施用にも注意を

なほロスター乳剤を使用している水田で、葉面から出てくるのは除草剤の成分です。使用後は、水田の周辺に除草剤が残り、雑草の発生を促進する可能性があります。

ダム放流のお知らせ

所、南国土木事務所

今年も出水期を迎え、台風、集中豪雨等が発生するシーズンとなりました。四時、再度各関係機関に通知し、サイレンによる警報を発行します。更に、ダムでは、目録より設備の点検整備等を行い、洪水に備えています。

穴内川ダム下流警報サイレン位置図



お料理ガイド

毎日油を消費します。大人一人一日の摂取量は20gです。野菜と組み合わせて、油料理を工夫してみましょう。

材料(五人分)
丸ナス 四個
豚のひき肉 二〇〇g
ねぎ 少々
生薑汁 少々
塩 少々

作り方
1. ナスはへたを除き、二センチ位の輪切りにし、中央にきり込みを入れて、切り離さないようにして、あくを抜く。

材料(四人分)
豆腐 一丁
魚肉ソーセージ 一本
玉ねぎ 中一個
胡瓜 一本
人参 五〇g
マヨネーズ 五〇g

作り方
1. 玉ねぎは縦にうすく切り、塩をふって、しばらくおき、さらし玉ねぎをつくる。

役場職員の異動

四月一日付で役場職員の人事異動が発表されました。

今回の異動は、近藤明彦(西豊永支所長)と、岡崎桃江(西豊永支所長)の異動が中心です。

また、十八年開校記念教育長が兼務してきた中央公民館長を専任としたことなど、主な特色が異動内訳は次の通りです。

退任の部
依願退職(出納室長)大地寿利、高等家政学校校長吉川喜美、東豊永小学校校長伊藤千代子、天井小学校校長山崎藤江。

異動の部(一) 内は前任
後日各地区ごとに調査して、後日お知らせいたします。

本山簡裁・本山家裁のあらまし

民事、刑事、家事事件など

年間約三百件を処理

本山簡裁・本山家裁のあらまし

本山簡裁・本山家裁のあらまし

本山簡裁・本山家裁のあらまし

東豊永小学校が完成

児童文庫も同時開館



昨年八月二十三日竣工した東豊永小学校（岡本金嘉校長）の新築工事が完成し四月三日盛大な落成式をあげると共に、父兄や同小の先輩たちの浄財によって併設された児童文庫の開館式も同時に行なわれた。

同小学校は既報のとおり昭和五年三月、怒田、川井、栗生の三校を統合して大滝に創設された。ところが建物が老朽化し三十八年には危険校舎の指定を受け、応急修理をしながら風雪に耐えてきた。新校舎は、町の学校施設再編成計画に基づき西川（川平）に建築をすすめていたもので、敷地総面積一・四畧、鉄筋コンクリート二階建、延べ二、五二一平方尺、工費七千三九四万円。普通教室六、音楽教室、特殊三教室の近代的な建物である。

同校は、昨年一昨年と家庭教育学級の指定を受け、県立図書館の巡回文庫などにより家庭ぐるみによる親子読書と取り組み、父兄の認識も次第に高まり、PTA会長氏原昭吉さん（豊）が文庫創設委員長となり、百万円を目標に昨年十一月から校下民や県内外の同校

志約四百人から目標額の二・五倍に当たる二五五万一千円が集まった。落成式までに七万円で、一、七〇冊の図書を購入し、最近第二次計画で三〇万四千五〇冊を、さらに第三次計画も近く会を開き、時期を見て購入する計画。児童文庫の開館式を兼ね



尚、集まったお金のうち諸経費を差し引いて、残り十万余りを大田小学校の図書購入費として寄付しました。

母校跡地に記念碑

思出を後世に残そうと



旧西豊永村立寺内尋常小
学校跡地（東寺内）に、吉
げて立派な記念碑を建立

四月十四日盛大な落成式を行ないました。この記念碑は、一昨年の学創立百年の記念行事として、卒業生の間で計画がすすみ、旧豊永尋常小学校に次いで二番目に建てられたものです。同校は明治九年開校、昭和十一年三月閉校、前記庵谷小学校と統合し現在の大田小学校となったもので、六十年間にわたる卒業

生の数も正確にはつかみにくいが、建立委員長に寺内佐々木義美、副委員長正氏らを選出し、委員十五名により卒業生への呼びかけを行ないました。その結果、予想以上の反響があり、寺内源太郎氏が敷地を無償で提供、なつかしい母校の門柱をそのまま移転して写真のような立派な記念碑を建てました。落成式は恩師部久芳、三谷喜喜、坂本幸子（当時）の三先生が出席して卒業生や門田町長、寺内議長の西岡豊等総数二百名が参加、集まった卒業生の



史跡をたずねて —青年学級研修 旅行に参加して—

式岩 森山 智子

十一月の下旬、日本文化の源泉となった、奈良飛鳥地方の史跡研修旅行に参加しました。聖徳太子の保護により大

混雑する現代の世相の中で、社会教育の第一線にある公民館のあり方が、今日程緊急課題として世に問われているのはありません。またこのような時代であり、そのコミュニケーションの手段として、今日程「地域づくり」「町おこし」の公民館活動が求められています。何卒御指導の程重ねてお願い申し上げます。町民の皆様と共に、社会教育の果たすべき現代的役割をさぐりながら生涯教育

た落成式には、門田町長、渡辺教育長ら町執行部、寺感謝状、記念品贈呈などがあつて、モチ投げのあとと東豊永公民館へ会場を移してや校下民約百五十名が集まり、祝賀会を開いた。

「ほたるの光」で校舎に別れ二十年の歴史をとじる
東豊永小学校の移転改築に伴ない、大豊中学校東豊永分校の閉校式が三月二十五日に行なわれ、開設以来二十年の歴史を閉じました。この東豊永小学校は昭和二十九年、校下民の強い要望により地元が当時の金額で約三百万円を寄付して建てたものである。四月からスクールバス二台で生徒は八人中へ送迎され、校舎は解体して小学校体育館の敷地となる見込み。

氏名 小笠原チヨ
年齢 五四、五歳くらい
住所 豊永地区
経歴 昭和十二、三年頃大阪に就職、昭和十七、八年頃マニラ支店に勤務、昭和二十一、二年頃大豊で健在であること確認
以上の方を森本安美（横浜市鶴見区生麦町六七八）さんが捜していますので、どなたかさいなことも知っています方がありましたら中央公民館まで一報下さい。

尋ね人

(1)

高でたいへんな時代ですが、やはり貯蓄の必要性は変わりません。貯蓄でゆたかな家計を築きましょう。ただいま郵便局では、「夏の定額貯金まつ